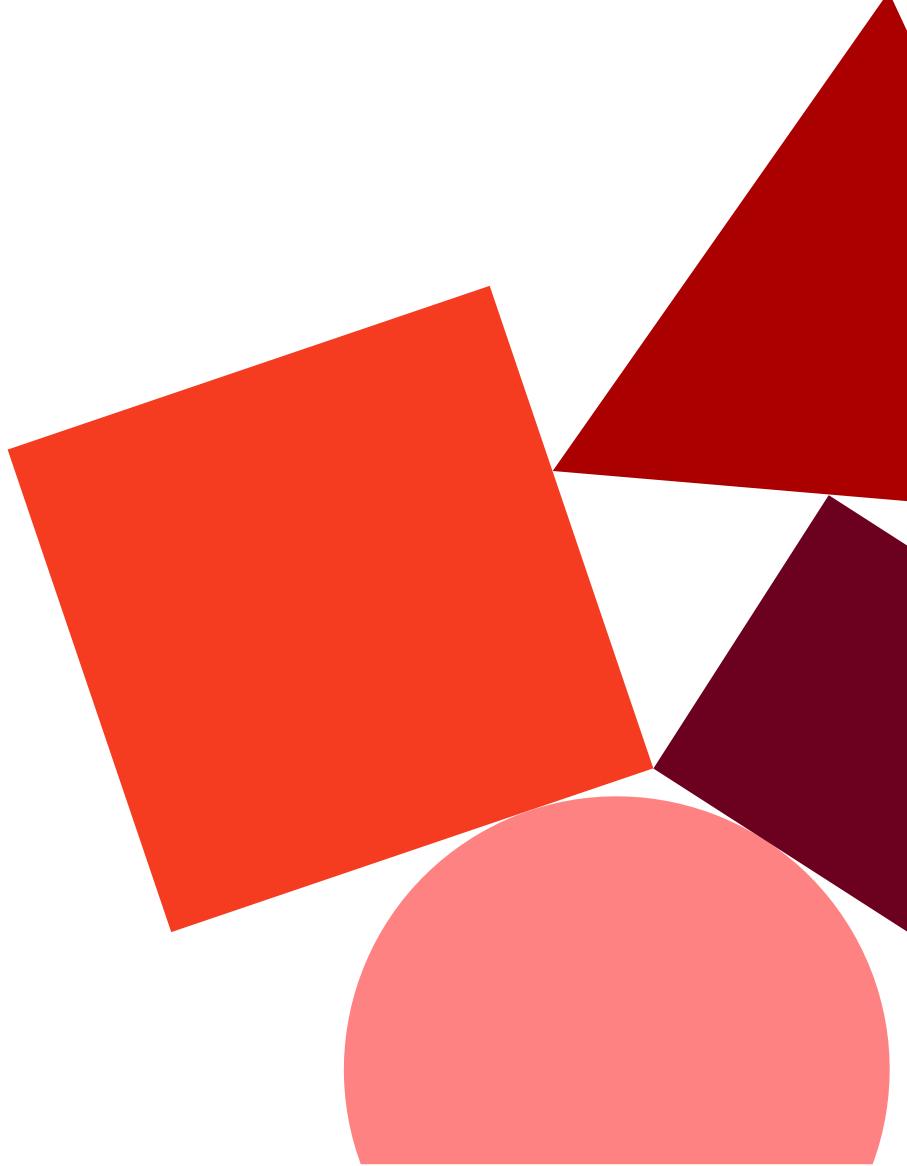




よりよく、寄り添う 販売管理クラウド

API連携マニュアル



株式会社ラクス「楽楽販売」担当
サポート受付時間 平日9:30～17:00

Confidential

2025/02

目次



1. [概要および前提条件](#)
2. [リクエスト方式](#)
3. [APIトークン](#)
4. [パラメータについて](#)
5. [制限事項](#)
6. [レスポンスについて](#)
7. [レスポンスのエスケープについて](#)
8. [実行結果サンプル](#)
9. [ファイルアップロードAPI](#)
10. [CSVファイルインポートAPI](#)
11. [CSVデータインポートAPI](#)
12. [CSVインポート状況確認API](#)
13. [CSVエクスポートAPI](#)
14. [レコード登録API](#)
15. [レコード更新API](#)
16. [レコード削除API](#)
17. [レコード参照API](#)
18. [サンプルプログラム\(PHP、JAVA\)](#)

API連携マニュアル 改訂履歴



- ・第1版 2015.02.08
- ・第2版 2015.12.12
- ・第3版 2016.08.03
- ・第4版 2017.05.07
- ・第5版 2017.06.08
- ・第6版 2018.01.22
- ・第7版 2018.03.05
- ・第8版 2018.03.19
- ・第9版 2018.10.01
- ・第10版 2019.02.20
- ・第11版 2019.11.18
- ・第12版 2022.06.22
- ・第13版 2022.09.12
- ・第14版 2022.10.11
- ・第15版 2022.11.14

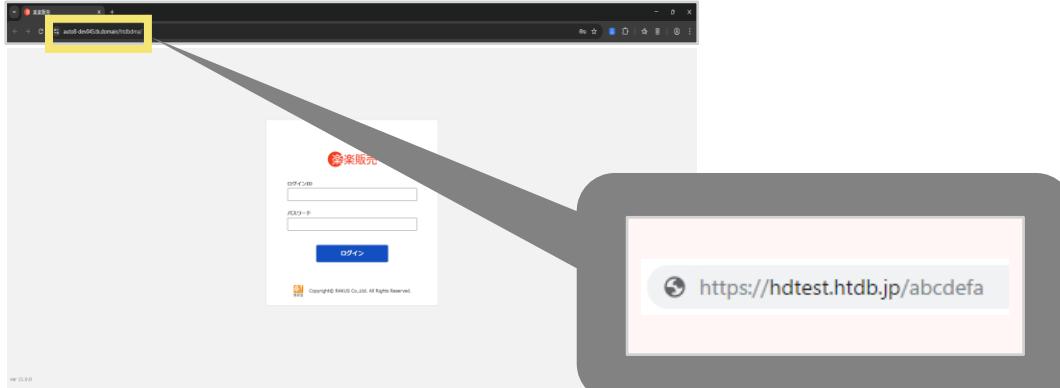
1. 概要および前提条件

本書は、下記を前提として本システムの「API連携機能」の利用方法と注意事項について記述しております。

前提条件

- ・API連携オプションを契約していること。
- ・API連携オプション用のIPアクセス制限が設定されていること。

2. リクエスト方式

通信方式	HTTPS(POST)
文字コード	UTF-8
URL	<p>https://【ドメイン】/【アカウント】/api/【API名】/version/【APIバージョン】</p>  <p>例: https://hdtest.htdb.jp/abcdefa/api/fileupload/version/v1</p> <p>【hdtest.htdb.jp】が利用するドメインになります。 【abcdefa】が利用するアカウントになります。 【api/fileupload/】がAPIのURLになります。※例では「fileupload」になります。 【version/v1】がAPIバージョンの指定になります。 ※パラメータ・バージョンは各APIの説明を参照してください。</p>

2. リクエスト方式



以下のリクエストヘッダを指定してください。

ヘッダ	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8	一部のAPIを除いて、必ず指定。 詳細は各APIのページを参照。
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	必ず指定。 APIトークンについては APIトークン のページを参照。

3. APIトークン



APIトークンとは

- ・本システムのAPIの利用時に認証用キーとして使用する文字列です。
- ・APIトークンは本システムのユーザ単位に発行することができます。

APIトークンの管理

- ・「ユーザ設定画面」より、以下の処理を行うことができます。
※「ユーザ設定画面」には、「管理者設定>ユーザ設定タブ>ユーザ管理>>設定」で遷移できます。

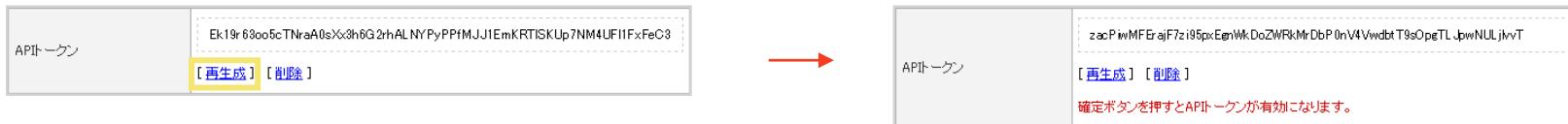
APIトークンの発行

- ・APIトークン欄の「生成」リンクをクリックすることにより、APIトークンが生成されます。
- ・生成後、「確定」ボタンをクリックすることにより、登録が完了し、APIトークンが使用できる状態となります。



APIトークンの再発行

- ・APIトークン欄の「再生成」リンクをクリックすることにより、APIトークンが再生成されます。
- ・再生成後、「確定」ボタンをクリックすることにより、再生成後のAPIトークンが登録されます。



3. APIトークン



APIトークンの削除

- ・APIトークン欄の「削除」リンクをクリックすることにより、APIトークンが削除されます。
- ・削除後、「確定」ボタンをクリックすることにより、APIトークンが使用できない状態になります。



4. パラメータについて



各種APIに設定するパラメータについては、「管理者設定>メンテナンス機能タブ>APIパラメータ情報」から取得できます。

管理者設定（メンテナンス機能） > APIパラメータ情報

APIパラメータ情報

« 管理者設定に戻る

対象のAPI、DBグループ、データベースを選択してください。

API	CSVインポートAPI
DBグループ	■販売管理
データベース	【マスタ】商品

データベースID（パラメータ名：dbSchemaId）

データベースID	100678
----------	--------

インポート設定ID（パラメータ名：importId）

【登録】新規商品	100345
マスタ追加	100346

« 管理者設定に戻る

5. 制限事項



リクエスト数について

- ・1アカウントごとに1分間で20リクエスト(0.33qps)

・CSVインポート／エクスポート関連API

以下のAPIの1分間のリクエストの合計が20リクエスト

- ファイルアップロードAPI
- CSVファイルアップロードAPI
- CSVデータインポートAPI
- CSVインポート状況確認API
- CSVエクスポートAPI

・レコード操作関連API

以下のAPIの1分間のリクエスト合計が20リクエスト

- レコード登録API
- レコード更新API
- レコード削除API

以下のAPIの1分間のリクエスト合計が20リクエスト

- レコード参照API

アップロードファイルサイズの上限

- ・1リクエストで最大2MB(プロプランの場合は1リクエストで最大10MB)

IPアクセス制限の変更

- ・「IPアクセス制限に関する設定」のAPIのアクセス制限欄より、API接続元のIPアドレスの追加・削除・変更を行ってください。

※「IPアクセス制限に関する設定」には、「管理者設定>>セキュリティ設定タブ>>IPアクセス制限に関する設定」から遷移できます。

6. レスポンスについて



以下の情報を、JSON形式でレスポンスを受け取ることができます。ただし、一部のAPIではJSON形式ではないものがあります。
詳細は各APIの仕様をご確認ください。

パラメータ	名称	説明
status	ステータス	リクエストが成功したかどうか(success:成功 error:異常)
code	レスポンスコード	
url	リクエストURL	
query └ \${key of parameter}	リクエストパラメータ	リクエストパラメータとその値を配列で格納します。
count	取得・更新件数	
version	APIのバージョン	
service	サービス名称	
accessTime	アクセス日時	
items └ \${each field name}	取得データ	レコード取得などで取得したデータを配列で格納します。
processId	プロセスID	キューイングが必要な処理の場合、処理を示すIDを格納します。
processStatus	バッチの状態	キューイングが必要な処理の場合、現在の状態を格納します。 (wait:待ち active:実行中 complete:完了)
errors	エラー情報	エラー情報を格納します。
ErrorCode	エラーコード	
ErrorMsg	エラー状態	

6. レスポンスについて



パラメータ	名称	説明
└description	詳細情報	各入力項目の詳細なエラー情報を格納します。
└name	パラメータ名	
└value	パラメータ値	
└code	詳細コード	
└msg	エラーメッセージ	
└header	詳細情報	ヘッダ項目の詳細なエラー情報を格納します。具体例は レコード登録API に記載しています。
└name	パラメータ名	
└value	パラメータ値	
└code	詳細コード	
└msg	エラーメッセージ	
└detail	詳細情報	明細項目の詳細なエラー情報を格納します。具体例は レコード登録API に記載しています。
└name	パラメータ名	
└value	パラメータ値	
└code	詳細コード	
└msg	エラーメッセージ	

6. レスポンスについて



レスポンスコード

レスポンスのボディ部に書かれたレスポンスコードから、リクエストの成功／失敗を判別することが可能です。

HTTPのステータスコードも同様の値を返却します。

レスポンスコード	状態	備考
200	成功	—
400	通常エラー	入力エラーなど、アプリケーションが検出するエラー
401	認証エラー	認証失敗、必要な権限がない場合のエラー
402	API未契約	API機能が利用できない場合のエラー
404	対象URIなし、アクセス権なし	URIの指定が間違っている、指定したデータが存在しない場合のエラー
413	リクエスト容量超過	最大リクエスト容量を超える容量のリクエストが送信された場合のエラー
429	リクエスト回数超過	最大アクセス数を超える回数のリクエストが送信された場合のエラー
500	内部エラー	予期しないエラー
503	メンテナンス中	Maintenance Mode(※メンテナンス日時は前もってお知らせいたします。お手数をおかけいたしますが、メンテナンス時のアクセスは控えていただきますよう、よろしくお願ひいたします。)

6. レスポンスについて



エラーコード

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

レスポンスコード	エラー コード	状態	メッセージ
200	—	成功	—
400	100	入力エラー	パラメータが不正です。
400	200	対象データなし	CSV出力するには一覧画面の表示設定が必要です。
400	201	重複エラー	—
401	1	認証エラー	認証エラーです。
402	2	API未契約	API連携オプションが未契約です。
403	7	アクセス権なし	アクセスが拒否されました。
404	3	対象URI なし	URLが存在しません。 指定されたバージョンのAPIは存在しません。
413	5	リクエスト容量超過	—
429	6	リクエスト回数超過	APIの実行回数が制限を超えました。
503	900	メンテナンス中	—
500	999	内部エラー	内部エラーが発生しました。

6. レスポンスについて



また入力エラー(エラーコード:100)については各項目の詳細なエラー情報も確認することが可能です。

エラー コード	詳細 コード	状態	メッセージ
100	1	必須エラー	必須項目です。
100	2	型エラー	型が正しくありません。
100	3	範囲外(下限)エラー	-
100	4	範囲外(上限)エラー	上限値(%num%)を超えています。
100	5	桁数不足	-
100	6	桁数超過	-
100	7	フォーマットエラー	指定されたファイルは%name%ではありません。
100	8	存在しない値(選択肢など)	紐づくデータが存在しません。
100	9	項目タイプの必須エラー	'%name%'を入力してください。
100	10	最小文字長エラー	'%name%'は <最小> 文字以上入力してください。
100	11	最大文字長エラー	'%name%'は <最大> 文字以内で入力してください。
100	12	入力制限エラー(半角数字)	'%name%' は半角数字で入力してください。

6. レスポンスについて



エラー コード	詳細 コード	状態	メッセージ
100	13	入力制限エラー(半角アルファベット)	'%name%' は半角アルファベットのみで入力してください。
100	14	入力制限エラー(半角英数)	'%name%' は半角英数のみで入力してください。
100	15	入力制限エラー(半角英数記号)	'%name%' は半角英数記号のみで入力してください。
100	16	入力制限エラー(全角文字)	'%name%' は全角のみで入力してください。
100	17	入力制限エラー(全角ひらがな)	'%name%' は全角ひらがなのみで入力してください。
100	18	入力制限エラー(全角カタカナ)	'%name%' は全角カタカナのみで入力してください。
100	19	入力制限エラー(電話番号-ハイフンあり)	'%name%' は電話番号(ハイフンあり)の形式で入力してください。
100	20	入力制限エラー(電話番号-ハイフンなし)	'%name%' は電話番号(ハイフンなし)の形式で入力してください。
100	21	入力制限エラー(郵便番号-ハイフンあり)	'%name%' は郵便番号(ハイフンあり)の形式で入力してください。
100	22	入力制限エラー(郵便番号-ハイフンなし)	'%name%' は郵便番号(ハイフンなし)の形式で入力してください。
100	23	重複エラー	'%name%' に入力された値は、すでに別のレコードで設定されています。
100	24	最小値エラー	'%name%' は'<最小>'以上の数字で入力してください。
100	25	最大値エラー	'%name%' は'<最大>'以下の数字で入力してください。

6. レスポンスについて



エラー コード	詳細 コード	状態	メッセージ
100	26	最小値・最大値エラー	'%name%'は'<最小>'以上'<最大>'以下で入力してください。
100	27	最小選択個数エラー	'%name%'は'<最低>'件以上を選択してください。
100	28	最大選択個数エラー	'%name%'は'<最高>'件までを選択してください。
100	29	最小・最大選択個数エラー	'%name%'は'<最低>'件以上'<最高>'件以下まで選択してください。
100	30	Eメール形式エラー	'%name%'はEメールの形式で入力してください。
100	31	URL形式エラー	'%name%'はURLの形式で入力してください。
100	34	存在しない項目タイプエラー	存在しないIDが指定されています。
100	35	入力フォーマットエラー	'%name%'が正しくありません。
100	36	承認フロー未選択エラー	承認フローを選択してください。
100	37	存在しない選択肢エラー	'%name%'に選択された値は、選択肢として設定されていません。
100	38	重複エラー(明細レコード)	'%name%'に入力された値は、すでに別の明細で設定されています。
100	39	日付・時間エラー	'%name%'に入力された値が、日付として正しくありません。
100	41	許可されない項目タイプエラー	'APIで登録できない項目が指定されています。

6. レスポンスについて



エラー コード	詳細 コード	状態	メッセージ
100	42	数値形式エラー	'%name%'は数値で入力してください。
100	43	明細項目	明細項目でdetailsところに指定ください。
100	44	ヘッダ項目指定位置エラー	ヘッダ項目を'details'に指定することはできません。
100	45	キー項目フォーマットエラー	"%name%"にてキー項目の形式として正しくありません。
100	46	桁数超過エラー	'%name%'は <最大> 桁で入力してください。
100	47	存在しないDBリンク値エラー	'%name%'に入力された値は、リンク先のDBのキー項目として使用されていません。
100	48	選択できないDBリンク値エラー	'%name%'に入力された値は、設定によって許可されていない値です。
100	49	計算結果の値なしによるエラー	'%name%'の計算結果が値なしにならないように入力してください。
100	50	計算結果 最大値エラー(超過)	'%name%'の計算結果が'%max%'より小さい数字になるように入力してください。
100	51	計算結果 最大値エラー(以下)	'%name%'の計算結果が'%max%'以下の数字になるように入力してください。
100	52	計算結果 最小値エラー(未満)	'%name%'の計算結果が'%min%'より大きい数字になるように入力してください。
100	53	計算結果 最小値エラー(以上)	'%name%'の計算結果が'%min%'以上の数字になるように入力してください。
100	54	計算結果 最小値・最大値エラー(以上・以下)	'%name%'の計算結果が'%min%'以上'%max%'以下になるように入力してください。

6. レスポンスについて



エラー コード	詳細 コード	状態	メッセージ
100	55	計算結果 最小値・最大値エラー(超過・未満)	'%name%'の計算結果が'%min%'より大きく、'%max%'より小さい数になるように入力してください。
100	56	配列禁止エラー	%name%には、配列を登録することができません。
100	57	従属項目の自動取得モード時に、従属項目に値が指定された場合のエラー	従属項目を取得する場合は、従属項目に値を指定することができません。
100	58	キー項目への値指定禁止エラー	'%name%'を指定することはできません。
100	59	配列形式エラー	%name%は配列形式を指定ください。
100	60	Detailsのフォーマットエラー	detailsの形式が正しくありません
100	61	対象レコードを指定する際、IDとキー項目が同時に指定された場合のエラー	IDとキー項目は、同時に指定できません。いずれか一つを指定してください。
100	62	updateDetailKeyIdに指定できる要素のエラー	updateDetailKeyIdには'detailKey'または'重複不可項目'のIDのみ指定できます。
100	63	承認途中のレコードに異なる承認フローのIDを指定して更新した場合のエラー	承認フローが変更できません。
100	64	JSON形式エラー	JSON文字列が不正です。
100	65	重複不可項目の値未指定エラー	updateDetailKeyIdに指定した重複不可項目には値が必要です。
100	66	明細上限エラー	登録できる明細の上限(%max%件)を超えてるので、明細を追加できません。

7. レスポンスのエスケープについて



以下の文字については、XSS対策のため、HTMLエスケープ処理を行っています。

※エスケープ範囲については以下(U+0000～U001F)の通りです。

文字	内容
¥”	二重引用符 (quotation mark)
¥¥	バックスラッシュ (reverse solidus)
¥/	スラッシュ (solidus)
¥b	後退 (バックスペース)(backspace)
¥f	改ページ (formfeed)
¥n	改行 (newline)
¥r	復帰 (carriage return)
¥t	タブ (horizontal tab)

8. 実行結果サンプル



実行結果を以下のような形式で返します。

成功した場合のレスポンス

▼ヘッダ(共通)

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json

X-Content-Type-Options: nosniff

▼ボディ(表記は一例です)

```
{  
    "status": "success",  
    "code": "200",  
    "url": "https://your.domain/your_account/api/api_name/version/v1",  
    "query": {  
        "dbSchemaId": "102870",  
        "importId": "100603",  
        "fileId": "25"  
    },  
    "processId": "100685",  
    "version": "v1",  
    "accessTime": "2015-02-05 15:00:04 +0900"  
}
```

8. 実行結果サンプル



失敗した場合のレスポンス

- ・パラメータエラーによって処理に失敗した場合

▼ヘッダ(表記は一例です)

```
HTTP/1.1 400 Bad Request
Content-Type: application/json
X-Content-Type-Options: nosniff
```

▼ボディ(表記は一例です)

```
{
    "status": "error",
    "code": "401",
    "url": "https://your.domain/your_account/api/api_name/version/v1",
    "query": [],
    "errors": {
        "code": "1",
        "msg": "認証エラーです。",
        "description": []
    },
    "version": "v1",
    "accessTime": "2015-02-05 14:55:50 +0900"
}
```

8. 実行結果サンプル



失敗した場合のレスポンス

- ・認証エラーによって処理に失敗した場合

▼ヘッダ(表記は一例です)

```
HTTP/1.1 401 Authorization Required
Content-Type: application/json
X-Content-Type-Options: nosniff
```

▼ボディ(表記は一例です)

```
{
  "status": "error",
  "code": "401",
  "url": "https://your.domain/your_account/api/api_name/version/v1",
  "query": [],
  "errors": {
    "code": "1",
    "msg": "認証エラーです。",
    "description": []
  },
  "version": "v1",
  "accessTime": "2015-02-05 14:55:50 +0900"
}
```

9. ファイルアップロードAPI



概要

ファイルを一時領域にアップロードするAPIです。

アップロードしたCSVファイルは、後述する「10. CSVファイルインポートAPI」を使って「楽楽販売」へインポートすることができます。

接続先URL

<https://【ドメイン】/【アカウント】/api/fileupload/version/【APIバージョン】>

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

パラメータ名	備考
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
uploadFile	アップロードファイル	ファイル	★	アップロードするファイル

9. ファイルアップロードAPI



取得内容

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
fileId	ファイルID	数値	アップロードしたファイルのID

注意事項

- ・ヘッダに「Content-Type: application/json」は指定しないでください。
 - ・アップロードするファイルは2MBが上限になります。
 - ・アップロードされたファイルはアップロードした時刻から1日後の深夜に削除されます。
- 削除されてしまった場合は、再度ファイルアップロードAPIを利用してファイルをアップロードしてください。

10. CSVファイルインポートAPI



概要

インポート設定に従い、インポートの予約を行うAPIです。

インポートの実行は、このAPIでは行わず、画面上からのインポートと同様に自動で行われます。

接続先URL

<https://【ドメイン】/【アカウント】/api/csvimport/version/【APIバージョン】>

事前準備

事前にインポート先のDBで、「インポート設定」を作成しておいてください。

※DB設定>機能設定タブ>インポート一覧より設定できます。

APIバージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

10. CSVファイルインポートAPI



パラメータ

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DBスキーマID	数値	★	インポート先のDBスキーマID
importId	インポートID	数値	★	インポート先のDBで設定したインポート設定のID
fileId	ファイルID	数値	★	ファイルアップロードAPIで取得したインポートするファイルID

取得内容

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
processId	処理ID	数値	インポート予約番号

注意事項

- ・インポートに利用できるファイルは拡張子がCSVのファイルのみで、ファイルサイズは2MBが上限になります。
- ・インポート後に実行する自動処理を選択している場合、インポート件数は5,000件が上限になります。

補足 CSVデータインポートAPIとの違い

- ・CSVファイルインポートAPIは、ファイルアップロードAPIで一時領域にアップロードされたCSVファイルをインポート予約するときに利用します。
送信するデータはJSONデータです。
- ・CSVデータインポートAPIは、CSVファイルのアップロードとインポート予約を同時に行います。
送信するデータはJSONデータとCSVファイルです。

11. CSVデータインポートAPI



概要

インポート設定に従い、インポートの予約を行うAPIです。

インポートの実行は、このAPIでは行わず、画面上からのインポートと同様に自動で行われます。

通常のCSVファイルインポートAPIと違い、インポートするCSVデータのアップロードを同時に行います。

接続先URL

<https://【ドメイン】/【アカウント】/api/csvdataimport/version/【APIバージョン】>

事前準備

事前にインポート先のDBで、「インポート設定」を作成しておいてください。

※DB設定>機能設定タブ>インポート一覧より設定できます。

APIバージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: multipart/form-data;	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

11. CSVデータインポートAPI



パラメータ(JSON部)

Content-Disposition: form-data; name="json"

Content-Type: application/json

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DBスキーマID	数値	★	インポート先のDBスキーマID
importId	インポートID	数値	★	インポート先のDBで設定したインポート設定のID

パラメータ(CSVデータ部)

Content-Disposition: form-data; name="uploadFile"; filename="<ファイル名>"

Content-Type: text/csv

取得内容

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
processId	処理ID	数値	インポート予約番号

注意事項

- ヘッダに「Content-Type: application/json」は指定しないでください。
- インポートに利用できるファイルは拡張子がCSVのファイルのみで、ファイルサイズは2MBが上限になります。
- インポート後に実行する自動処理を選択している場合、インポート件数は5,000件が上限になります。(プロプランの場合は20,000件が上限)

12. CSVインポート状況確認API



概要

CSVインポートAPIでインポート予約したインポートの状況を確認するAPIです。

接続先URL

<https://【ドメイン】/【アカウント】/api/checkcsvimportprocess/version/【APIバージョン】>

APIバージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

パラメータ

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
processId	処理ID	数値	★	CSVインポートAPIで取得したインポート予約番号(processId)

12. CSVインポート状況確認API



取得内容

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
processStatus	処理状況	文字列	wait:未処理 active:実行中 complete:完了
items	処理結果の配列	配列	処理結果を格納した配列
nowCondition	現在の処理状況	数値	0:開始待ち 1:インポート中 2:完了 3:強制終了
progress	進捗率	数値	インポートの進捗率(%)
succeedCount	成功したレコード数	数値	インポートに成功したレコード数
failureCount	失敗したレコード数	数値	インポートに失敗したレコード数

注意事項

- ・インポートに失敗レコードについては「インポート状況確認」画面よりダウンロード出来る「エラーデータ.csv」から、失敗した原因を確認することができます。

13. CSVエクスポートAPI



概要

指定したテーブルのレコードをエクスポートするAPIです。

接続先URL

<https://【ドメイン】/【アカウント】/api/csvexport/version/【APIバージョン】>

事前準備

- エクスポート時に絞込みを行う場合は事前にエクスポート対象のDBで、「絞込み設定」を作成して下さい。
※DB設定>表示設定タブ>絞込み設定より設定できます。
- エクスポートする列を指定する場合は事前にエクスポート対象のDBで、「レコード一覧画面設定」を作成して下さい。
※DB設定>表示設定タブ>レコード一覧画面設定より設定できます。指定しない場合は、デフォルトのレコード一覧画面の設定が適用されます。

APIバージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

13. CSVエクスポートAPI



パラメータ

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DBスキーマID	数値	★	エクスポート元のDBスキーマID
searchId	絞込みID	数値		エクスポート元のDBの絞込みID
listId	レコード一覧画面設定ID	数値		エクスポート元のDBのレコード一覧画面設定ID
limit	取得件数	数値		エクスポートするレコード件数 (デフォルト10件)
offset	取得開始件数	数値		エクスポートを開始する件数(デフォルト1件目)

取得内容

- ・CSV形式のレコード一覧(1行目には各レコードの列名が入っています。)
- ・文字コードはUTF-8

注意事項

- ・取得件数は親レコードの件数がカウントされます。明細行はカウントされません。
- ・searchIdの指定がなければ、絞込みの指定なしとなります。
- ・listIdの指定がなければ、すべての項目が対象となります。
※未設定のレコード一覧画面設定を指定した場合、何も出力することができないので、エラーになります。
- ・limitの指定がなければ、デフォルトは10件です。指定できる最大件数は200件です。
- ・offsetの指定がなければ、デフォルトは1件目からです。

14. レコード登録API



概要

レコード1件を新規登録するAPIです。

接続先URL

https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/regist/version/【APIバージョン】

APIバージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

14. レコード登録API



パラメータ

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DBスキーマID	数値	★	登録対象のDBスキーマID
getSubordinate	従属目の取得をする/しない	数値		従属項目の取得をする:1 従属項目の取得をしない:0(デフォルト)
approvalFlowId	承認フローID	数値		登録時に適用する承認フローID 承認全体設定で「承認フローの使用を必須にする」が設定されている場合、承認フローIDが指定されていない場合エラーになります。
keyMode	キー項目登録モード	数値		自動採番を優先する:0 入力したキーの値を優先する:1 キー項目の採番方法に「自動採番」「選択肢 + 自動採番」「年(西暦) + 自動採番」「年(和暦) + 自動採番」が設定されている場合、必須項目です。
values	登録データ	-	★	登録対象の項目IDと値を設定します。 ※後述する【レコード登録時のJSON書式】をご覧ください。

取得内容

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
keyId	キー項目の値	文字列	登録したレコードのキー項目の値。キー項目を持たないDBの場合は、出力しません。
id	レコードのID	文字列	登録したレコードのID。

14. レコード登録API



【レコード登録時のJSON書式】

レコード登録時のJSONの基本書式は以下の通りです。

「ヘッダ項目のID」および「明細項目のID」については、「APIパラメータ情報画面」よりご確認ください。

```
{  
    "dbSchemaId": "[DBスキーマID]",  
    "values": { ← ヘッダ項目の値はvalues直下に指定します。  
        "[ヘッダ項目のID]": "[登録する値]",  
        :  
        "details": [ ← 明細項目の値はvalues配下のdetailsに配列形式で指定します。  
            { ← 明細1行目  
                "[明細項目のID]": "[登録する値]",  
                :  
            },  
            { ← 明細2行目  
                "[明細項目のID]": "[登録する値]",  
                :  
            }  
        ]  
    }  
}
```

14. レコード登録API



それぞれの項目タイプに登録する値の書式

タイプ	書式
キー	<p>[入力例] “105110”：“A0000001”</p> <p>キー項目の採番方法に「自動採番」「選択肢+自動採番」「年(西暦)+自動採番」「年(和暦)+自動採番」が設定されている場合、keyModeパラメータを使用して、「自動採番で登録する」「入力した値を使用して登録する」のいずれかを指定することができます。</p> <p>keyModeが0の場合</p> <p>自動採番で登録します。</p> <p>「自動採番」 ⇒ 値の指定は不要です。</p> <p>「選択肢+自動採番」 ⇒ APIからは「選択肢」の部分のみ指定してください。</p> <p>「年(西暦)+自動採番」 ⇒ 値の指定は不要です。</p> <p>「年(和暦)+自動採番」 ⇒ 値の指定は不要です。</p> <p>keyModeが1の場合</p> <p>入力した値を使用して登録します。</p> <p>「自動採番」 ⇒ 入力した値をキー値に適用します。</p> <p>「選択肢+自動採番」</p> <p>「年(西暦)+自動採番」</p> <p>「年(和暦)+自動採番」</p> <p>⇒ 選択肢、年、先頭に付ける文字、最後に付ける文字、接続文字など、全てを結合した文字列を指定してください。</p> <p>キー項目の設定で定義したフォーマットと異なる文字列が指定された場合、入力エラーになります。</p>

14. レコード登録API



タイプ	書式
テキスト(1行)	[入力例] “105111”：“テキスト(1行)”
テキスト(複数行)	[入力例] “105112”：“テキスト(複数行)¥nテキスト(複数行)”
数値	[入力例] “105113”：“10”
選択肢(1件選択)	[入力例] “105114”：“選択肢1” 選択肢要素の文字列を指定してください。
選択肢(複数件選択)	[入力例] “105115”：[“選択肢A”, “選択肢B”, “選択肢C”] 選択肢要素を、JSONの配列形式で指定してください。 空の配列“[]”を指定した場合は、空の値で更新します。
ユーザ選択肢(1件選択)	[入力例] “105116”：“田中一郎” ユーザ名を指定してください。
ユーザ選択肢(複数件選択)	[入力例] “105117”：[“田中一郎”, “鈴木次郎”] ユーザ名を、JSONの配列形式で指定してください。 空の配列“[]”を指定した場合は、空の値で更新します。
日時	[入力例] “105118”：“2017/06/21 14:25:12” 以下の4つの書式で入力することができます。 2008-10-10 10:10:10 2008/10/10 10:10:10 20081010 101010 2008年10月10日 10時10分10秒

14. レコード登録API



タイプ	書式
時間	<p>[入力例] “105119”：“10時20分35秒” 以下の3つの書式で入力することが可能です。 101010 10:10:10 10時10分10秒</p>
DBリンク項目	<p>[入力例] “105120”：“100001” リンク先DBのキー項目の値を指定してください。 getSubordinateパラメータが0の場合 関連する従属項目の値の取得を行いません。 getSubordinateパラメータに1の場合 関連するDBリンク項目から、従属項目の取得を行います。 このモードの時に従属項目に値を直接指定することはできません。</p>
従属項目	<p>[入力例] “105121”：“品名”</p>
URL	<p>[入力例] “105122”：“http://example.com”</p>
メール	<p>[入力例] “105123”：“example@example.com”</p>

注意事項

- ・レコード登録APIを使用した場合、登録後の自動処理は実行しません。
- ・登録時の通知メールやアラートメールは「通知メール設定」で設定した内容に従います。
- ・レコード登録APIを使用する場合、アクセス権限による入力制限は行いません。
レコード追加権限もしくは項目編集権限持っていないユーザに紐づくトークンでもAPIでレコードを登録できます。

14. レコード登録API



- ・入力値に二重引用符などの特殊文字を使用する場合は、エスケープ文字を付加して指定してください。

表記	意味
¥”	二重引用符
¥¥	¥マーク
¥/	スラッシュ
¥n	改行

- ・パラメータで指定しない項目タイプは登録対象外です。また、項目タイプに設定された初期値は反映しません。
- ・「数値計算」「自動採番」「日時と時間の量の計算」「日時と日時の計算」「ファイル」「イメージ」「自動生成ファイル」の項目はレコード登録APIで直接値を指定することはできません。ただし、他の数値項目などを基にした計算処理の結果などは反映します。
- ・レコードの登録者、最終更新者には、APIトークンに紐づくユーザを適用します。
- ・JSON文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSONとして解釈できない場合、エラーになります。

14. レコード登録API



レコード登録APIに使用するJSONの例

```
{  
    "dbSchemaId": "1000001",  
    "getSubordinate": "0",  
    "approvalFlowId": "1000001",  
    "keyMode": "0",  
    "values": {  
        "105110": "key0000001",  
        "105111": "テキスト(1行)",  
        "105112": "テキスト(複数行)¥nテキスト(複数行)",  
        "105113": "10",  
        "105114": "選択肢1",  
        "105115": ["選択肢A", "選択肢B", "選択肢C"],  
        "105116": "田中一郎",  
        "105117": ["田中一郎", "鈴木次郎"],  
        "105118": "2017/06/21 14:25:12",  
        "105119": "10時20分35秒",  
        "105120": "100001",  
        "105122": "http://example.com",  
        "105123": "example@example.com",  
        "details": [  
            {  
                "105132": "明細テキスト(複数行)¥n明細テキスト(複数行)",  
                "105133": "10"  
            },  
            {  
                "105133": "12",  
                "105134": "田中一郎"  
            }  
        ]  
    }  
}
```

14. レコード登録API



レコード登録APIのエラーレスポンス例

```
{<<省略>>
  "errors": [
    {
      "code": "100",
      "msg": "パラメータが不正です。",
      "description": [
        {
          "header": [
            {
              "name": "105123",
              "value": "",
              "code": "1",
              "msg": "必須項目です。"
            }
          ]
        },
        {
          "detail": [
            "1": [
              {
                "name": "105134",
                "value": "",
                "code": "1",
                "msg": "必須項目です。"
              }
            ],
            {
              "detail": [
                "1": [
                  {
                    "name": "105134",
                    "value": "",
                    "code": "1",
                    "msg": "必須項目です。"
                  }
                ],
                "2": [
                  {
                    "name": "105133",
                    "value": "12",
                    "code": "8",
                    "msg": "紐づくデータが存在しません。"
                  }
                ]
              ]
            }
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```

パラメータが不正のため、エラーとなります

メールタイプ項目が、必須項目にもかかわらず、空白のため、エラーとなります

15. レコード更新API



概要

レコード1件を更新するAPIです。

接続先URL

`https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/update/version/【APIバージョン】`

APIバージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

15. レコード更新API



パラメータ

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DBスキーマID	数値	★	更新対象のDBスキーマID
id	レコードID	数値	▲	更新対象のレコードID keyIdまたはidのいずれかが必須です。
keyId	キー項目	文字列	▲	更新対象のレコードのキー項目の値 keyIdまたはidのいずれかが必須です。
getSubordinate	従属項目の取得をする/しない	数値		従属項目の取得をする:1 従属項目の取得をしない:0(デフォルト)
approvalFlowId	承認フローID	数値		更新時に適用する承認フローID 既に承認依頼されているレコードに対して、異なる承認フローIDを指定するとエラーになります。
updateDetailKeyId	明細キーあるいは 重複不可項目ID	文字列		「更新する明細行の指定」に使用する項目を指定します。 明細行の指定は、以下のいずれかの方法で行うことができます。 ・明細キーを使用する ・重複不可項目を使用する

15. レコード更新API



パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
updateDetailKeyId	明細キーあるいは重複不可項目ID	文字列		<p>[明細キーを使用する場合] ・updateDetailKeyIdに文字列”detailKey”を指定します。 ・detailsパラメータ中の”detailKey”に明細キーの値を指定します。 ・明細キーの書式は、「レコードのキー項目の値 ”－” 行番号」です。</p> <p>[重複不可項目を使用する場合] ・updateDetailKeyIdに重複不可項目のIDを指定します。 ・detailsパラメータ中に重複不可項目のIDと値を指定します。</p> <p>いずれの方法でも、明細キーや、重複不可項目が、既に存在している明細と合致しない場合は、末尾に新規行として追加します。</p>
values	更新データ	-	★	更新対象の項目IDと値を設定します。 ※後述する【レコード更新時のJSON書式】をご覧ください。

15. レコード更新API



取得内容

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
keyId	キー項目の値	文字列	更新したレコードのキー項目の値。 キー項目を持たないDBの場合は、出力しません。
id	レコードのID	文字列	更新したレコードのID。

レコード更新時のJSON書式

レコード登録時のJSONの基本書式は以下の通りです。

「ヘッダ項目のID」および「明細項目のID」については、「APIパラメータ情報画面」よりご確認ください。

```
{  
    "dbSchemaId": "[DBキーID]",  
    "id": "[更新対象のレコードのID]",  
    ("keyId": "[更新対象のレコードのキー項目の値"],)  
  
    "updateDetailKeyId": "detailKey" ← 「更新する明細行の指定」に明細キーを使用する場合  
    ("updateDetailKeyId": "[明細の重複不可項目のID]") ← 重複不可項目の値を使用する場合  
  
    "values": { ← ヘッダ項目の値はvalues直下に指定します。  
        "[ヘッダ項目のID]": "[更新する値]",  
        :  
        "details": [ ← 明細項目の値はvalues配下のdetailsに配列形式で指定します。  
            { ← 明細1行目(更新)  
                "detailKey": "[更新する行の明細キー]", (例:key0000001-1)  
                ("[明細の重複不可項目のID]": "[更新する行の重複不可項目の値]",)  
                "[明細項目のID]": "[更新する値]",  
                :  
            :  
        },  
        { ← 明細2行目(新規登録。明細行を特定する値や一致する行が無い場合、新規行を登録します)  
            "[明細項目のID]": "[登録する値]",  
            :  
        }  
    ]  
}
```

15. レコード更新API



それぞれの項目タイプに登録する値の書式

※レコード登録APIの項をご確認ください。

注意事項

- ・レコード更新APIを使用した場合、更新後の自動処理は実行しません。
- ・更新時の通知メールやアラートメールは「通知メール設定」で設定した内容に従います。
- ・レコード更新APIを使用する場合、アクセス権限やレコードアクセス権による入力制限は行いません。
項目編集権限持っていないユーザに紐づくトークンでもAPIでレコードを更新できます。
- ・入力値に二重引用符などの特殊文字を使用する場合は、エスケープ文字を付加して指定してください。

15. レコード更新API



表記	意味
¥”	二重引用符
¥¥	¥マーク
¥/	スラッシュ
¥n	改行

- ・パラメータで指定しない項目タイプは更新対象外です。
- ・「数値計算」「自動採番」「日時と時間の量の計算」「日時と日時の計算」「ファイル」「イメージ」「自動生成ファイル」の項目は、レコード更新APIで直接値を指定することはできません。ただし他の数値項目などを基にした計算処理の結果などは反映します。
- ・レコードの最終更新者には、APIトークンに紐づくユーザを適用します。
- ・JSON文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSONとして解釈できない場合、エラーになります。
- ・ラベルが登録されているURL項目をレコード更新APIで更新するとラベルをクリアしてURLを更新します。

15. レコード更新API



レコード更新APIに使用するJSONの例

```
{  
    "dbSchemaId": "1000001",  
    "id": "10",  
    ("keyId": "key0000001",)  
    "getSubordinate": "0",  
    "approvalFlowId": "101142",  
    "updateDetailKeyId ":"detailKey",  
    ("updateDetailKeyId ":"105131",)  
    "values": {  
        "105111": "テキスト(1行)",  
        "105112": "テキスト(複数行)¥nテキスト(複数行)",  
        "105113": "10",  
        "105114": "選択肢1",  
        "105115": ["選択肢A", "選択肢B", "選択肢C"],  
        "105116": "田中一郎",  
        "105117": ["田中一郎", "鈴木次郎"],  
        "105118": "2017/06/21 14:25:12",  
        "105119": "10時20分35秒",  
        "105120": "100001",  
        "105121": "http://example.com",  
        "105122": "example@example.com",  
        "details": [  
            {  
                "detailKey": "key0000001-1",  
                ("105131": "重複不可項目00001",)  
                "105132": "指定した明細行を更新します。"  
            },  
            {  
                "detailKey": "key0000001-3",  
                ("105131": "重複不可項目00003",)  
                "105132": "指定した明細行を更新します。"  
            },  
            {  
                "105132": "この行は新規登録します."  
            },  
        ]  
    }  
}
```

15. レコード更新API



レコード更新APIのエラーレスポンス例

※レコード登録APIの項をご確認ください。

16. レコード削除API



概要

レコード1件を削除するAPIです。

接続先 URL

https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/delete/version/【API バージョン】

API バージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

16. レコード削除API



パラメータ

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DBスキーマID	数値	★	参照対象のDBスキーマID
id	レコードID	数値	▲	削除対象のレコードID keyIdまたはidのいずれかが必須です。
keyId	キー項目	文字列	▲	削除対象のレコードのキー項目の値 keyIdまたはidのいずれかが必須です。

取得内容

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
keyId	キー項目の値	文字列	削除したレコードのキー項目の値。 キー項目を持たないDBの場合は、出力しません。
id	レコードのID	文字列	削除したレコードのID。

注意事項

- 削除時の通知メールやアラートメールは「通知メール設定」で設定した内容に従います。
- レコード削除APIは、レコード単位で削除を行います。特定の明細1行を指定した削除はできません。
- レコード削除APIを使用する場合、アクセス権限やレコードアクセス権による入力制限は行いません。
- レコード削除権限もしくは項目編集権限持っていないユーザに紐づくトークンでもAPIでレコードを削除できます。
- 承認設定で、削除できない設定となっているレコードも削除することができます。
- JSON文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSONとして解釈できない場合、エラーになります。

17. レコード参照API



概要

レコード1件を参照するAPIです。

接続先URL

`https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/view/version/【APIバージョン】`

APIバージョン

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

ヘッダ

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${APIトークン}	APIトークンについては APIトークン を参照

17. レコード参照API



パラメータ

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DBスキーマID	数値	★	参照対象のDBスキーマID
id	レコードID	数値	▲	参照対象のレコードID keyIdまたはidのいずれかが必須です。
keyId	レコードのキー項目ID	キー項目	▲	参照対象のレコードのキー項目の値 keyIdまたはidのいずれかが必須です。
viewId	閲覧画面設定ID	数値		レコード閲覧画面設定のID レコード閲覧画面設定で定義した「項目タイプ」および「参照専用項目」を出力します。 閲覧画面設定IDを指定しない場合、DB全体設定で設定されている 【デフォルトレコード閲覧】の内容を出力します。
responseType	出力タイプ	数値	★	出力結果のJSONのキーに何を出力するかを指定します。 項目ID:0 項目タイプ名:1 「項目タイプ名」を指定した場合、固定項目名と同じ名称の項目タイプがある場合、 結果が正しく取得できません。 項目タイプ名を変更するか、「項目ID」を指定してください。 [システムで使用する固定項目名] [ID]、[登録日]、[登録ユーザ]、[更新日]、[更新ユーザ] details、行、明細キー

17. レコード参照API



取得内容

- 以下の書式のJSON文字列を出力します。
「ヘッダ項目のID」および「明細項目のID」については、「APIパラメータ情報画面」よりご確認ください。

```
{  
    “【ヘッダ項目名または項目タイプID】” : “【値】”  
    :  
    “details” : [ ← 明細項目の値はdetailsに配列形式で出力します。  
        {  
            “【明細項目名または項目タイプID】” : “【値】”,  
        },  
        {  
            “【明細項目名または項目タイプID】” : “【値】”,  
        },  
    ]  
}
```

- 出力する値は、項目タイプ設定で設定した表示用書式に従って出力します。
- URL項目についてのみ、以下の書式で値を出力します。

```
“【URL項目名または項目タイプID】” : {  
    “url” : 【URLの値】  
    “label” : 【ラベルの値】  
}
```

17. レコード参照API



・項目タイプ以外に出力する値については、以下の通りです。

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
id	ID	数値	レコードのID
registDate	登録日	日付	レコードの登録日時
registUser	登録ユーザ	文字列	レコードを登録したユーザの名前
updateDate	更新日	日付	レコードの最終更新日時
updateUser	更新ユーザ	文字列	レコードを最後に更新したユーザの名前
line	行	数値	明細の行番号
detailKey	明細キー	文字列	明細のキー(レコードのキー項目の値 “-” 行番号)

17. レコード参照API



注意事項

・レコード閲覧画面設定で定義できる、以下の項目については、レコード参照APIでは出力しません。

- 現在日時
- ログインユーザー
- 日時と日時の計算
- 日時と時間量の計算
- 固定値
- 文字連結
- 見出し
- 区切り線
- 空白行

・レコード参照APIを使用する場合、アクセス権限やレコードアクセス権による入力制限は行いません。

項目参照権限持っていないユーザに紐づくトークンでもAPIでレコードを参照できます。

・JSON文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSONとして解釈できない場合、エラーになります。

18. サンプルプログラム(PHP・Java)



PHP、Javaのサンプルプログラムを用意しております。必要な場合はサポート窓口までお問い合わせください。